

## 導入編の設定（例）

※ あくまでも例であり、実際の冊子は受託業者の企画案に沿って、調整の上、作成する予定です。

### ○ 概要

- 総合計画で描く将来の姿について、県民にわかりやすい形で示すために、仮想の県民を設定し、その人（たち）の生活シーンを描くことにより、県民それぞれが自分のこととして、将来の姿を感じることができるようにする。
- 想定としては、Aさんとその一家のとある一日をいくつかのシーンに分けて描く。
- その中には、総合計画素案P 33～38で示した2040年の山梨県の将来像の（1）～（5）について、それぞれ少なくとも各1項目が関連するように設定する。

○ 登場人物

主人公一家

Aさん	30代、女性、既婚、2人の子ども 家庭用ロボット製造の会社に勤めるエンジニア
Bさん	30代、男性、Aさんの夫 ぶどう農家
Cさん	小学3年生、女性、Aさんの長女
D君	保育園年長、男性、Aさんの長男
猫	Aさんの家の飼い猫
シャイン	家庭用ロボット

Aさんの同僚

Eさん	40代、男性、Aさんの上司、インド人
Fさん	20代、男性、Aさんの同僚、 足が不自由だが電動車椅子で移動
Gさん	高校生、女性、1週間の職場体験中

その他

Hさん	80代、男性、近くの農家
-----	--------------

○ 想定シーン

<シーン1> 朝のひとこま

- Aさん一家の朝
- 家庭用ロボット：シャイン（Aさんの会社製品）が家事を省力化
- Bさんはドローンでぶどう畑の見回り中
- 朝食後にそれぞれが出発
  - ・ D君のお迎えは自動運転の保育園バス
  - ・ Aさんは通勤バスで出勤

<シーン2> Aさんのサテライトオフィス <（1）、（3）関連>

- 市内のサテライトオフィスに出勤（本社は名古屋）
- 出勤するがEさんとFさんしかいない
  - ・ 同僚の一人はテレワーク、一人は東京出張
- Aさんの仕事は家庭用ロボットのAI改良など
- 高校生のGさんは1週間の職場体験中で、将来はAI技術者として地元で起業したいとも考えている

<シーン3> Cさんの学校 <（2）、（3）関連>

- 近くの小学校に登校
- 同級生には、入院中のため、遠隔授業を受ける子も
- 今日、インターネット上で、フランスの姉妹校と交流授業
  - ・ 互いの街をプレゼンする
  - ・ 言葉については、自動翻訳で字幕がでる。

<シーン4> Bさんの農場

< (2)、(4)、(5) 関連 >

- AIスピーカーと話をしながら、上海の市場動向などを収集
- ARめがねを使った摘粒作業
- 近所のHさんとの会話
  - ・ IoTやロボットの導入により省力化で、農業が続けられる
  - ・ 少し血糖値が高く、自動的にデータが主治医に行っており、先日も注意されてしまった
- AIスピーカーから避難訓練の連絡が流れる
  - ・ スマホ（もしくは相当のデバイス）の指示に従って、一緒に、避難所への避難訓練をはじめ。

<シーン5> 夕食の会話

< (1)、(5) 関連 >

- 4人が集まって食事
- D君は、夕方にBさんと自転車の練習をしたことを報告
  - ・ 将来はツールド山梨に出たい
- 家庭用ロボット：シャインがスケジュールを連絡
- 明日、Aさんは週1回の名古屋ミーティング
- Cさんは富士山方面に遠足
  - ・ AさんとBさんの会話：インバウンドが広がっている